

強力カビ取り剤

カビスケ

まぜるな危険!

 酸性タイプの製品と一緒に使う(まぜる)と塩素ガスが出て**危険**です。

用途

- 松、桧、台桧等のアオ取り、木材のカビ取り・除去。
- 木材・木工の漂白洗浄。
- 浴室のカビ、タイル目地、コーキングのカビ取り・除去。

使用方法

- ① カビスケの原液～5倍希釈液を、ナイロンハケ等で均一に塗布してください。
 - ② カビが取れにくい時は、上記の作業を繰り返すか、長時間湿布してください。
 - ③ 作業後は必ず十分に水洗いまたは水拭きしてください。
 - ④ 乾燥後、白い粉(塩分)が残っている場合には、さらに水拭きしてください。
- ※ 使用分量だけポリまたはプラスチック容器(金属は腐食します)に入れてお使いください。
- ※ カビスケの残留物(塩分)を放置されると気象条件によっては発火したりカビが生え易くなる場合があります。
- ※ 濃い濃度での一度洗いより、薄い濃度での二度、三度洗いのほうが良い仕上がりが得られます。

 標準使用量 5～15 m²/ℓ


施工前



施工後

業務用
4ℓ・18ℓ

使用上の注意

- ① 使用上の注意及びMSDSをよく読んでからお使いください。
 - ② ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。漂白効果がありますので、必ず目立たない部分でテストしてください。
 - ③ 水道水以外のものと混合しないでください。
 - ④ カビスケに漂白剤や酸性タイプの製品を混ぜたり、よく乾かないうちに塗り重ねると塩素ガスが出て危険です。特に、トイレ・風呂場等の風通しの悪い場所で 使用すると、塩素ガスで中毒しますのでご注意ください。
 - ⑤ 取り扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
 - ⑥ 作業時は必ず防毒マスク又は送気マスク、保護メガネ、ゴム手袋、不浸透性の保護衣、長靴などを着用してください。
 - ⑦ 乾燥後、塩分が残りますので必ず水拭きしてください。カビスケが付着したまま、かんなやサンダーをかけたり、紙・木屑・衣類等に付着して乾燥すると発火の原因になりますのでよく水洗いしてください。
 - ⑧ ワックスや塗装をするときは、カビスケを塗った後、水拭きをしてよく乾いてからにしてください。塗装をするときは変色の恐れがありますので試し塗りの上お使いください。
 - ⑨ タタミやジュウタンなどにこぼれると変色しますのでご注意ください。
 - ⑩ 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上でご利用ください。
 - ⑪ 口や目に入ったときは、速やかに十分な水洗いをし、医師にご相談ください。
 - ⑫ 手や皮膚、衣類についたときは、速やかに十分な水洗いをしてください。
 - ⑬ 子どもの手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外の車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
 - ⑭ 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くお使いください。
 - ⑮ 用途以外には使わないでください。
- ホルムアルデヒドを含有する原料は一切使用しておりません。
- 製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。


株式会社ミヤキ

取扱店

2007.09.5T

本 社：福岡市中央区大手門1-2-23-1105
 TEL 092-713-0001 FAX 092-741-8606
 須 恵 工 舎：福岡県粕屋郡須恵町植木1341
 TEL 092-937-3008 FAX 092-931-8081
 URL: www.miyaki.com

営業所

札幌、仙台、新潟、北関東、千葉、東京、東京第一
 東京第二、埼玉、神奈川、浜松、名古屋、大阪第一
 神戸西、広島、福岡、佐賀、鹿児島